

● 幹部へのインタビュー

まつ せ たかひろ
松瀬 貴裕

人材開発統括官付 参事官
(人材開発政策担当)

過去の経歴

平成2年	入省
平成8年	在大韓民国日本国大使館 二等書記官
平成11年	秋田県商工労働部 職業安定課長
平成12年	秋田労働局職業安定部長
平成15年	渋谷公共職業安定所長
平成21年	神奈川労働局職業安定部長
平成23年	北海道労働局職業安定部長
平成25年	職業安定局首席職業指導官室 次席職業指導官
平成27年	職業能力開発局能力開発課 企画官
平成29年	職業能力開発局能力開発課 訓練企画室長
平成29年	人材開発統括官付 キャリア形成支援室長
令和元年	職業安定局首席職業指導官室 首席職業指導官
令和3年	香川労働局長
令和5年	職業安定局雇用政策課労働市場 情報整備推進企画準備室長
令和5年	人材開発統括官付人材開発 政策担当参事官

キャリアストーリー

ジョブ・カードの普及

キャリア形成支援室長に就任した当時、ジョブ・カード取得者数の政府目標の達成が危ぶまれていたことから、「脈のありそうな」会社や学校に対して、ジョブ・カードの売り込みをかけて回りました。講演依頼があれば、北海道から九州までどこへでも行きました。そのうちジョブ・カードの趣旨に賛同してくれる方々が少しずつ出てきて、目標達成にかなり近づくことができました。とても泥臭いやり方で「政策の企画立案」というスマートなイメージとはほど遠いかも知れませんが、私にとっては印象深い仕事でした。

Q1: 厚生労働省の人間科学職について教えてください。

厚生労働行政は、医療・福祉・雇用・労働・年金など国民生活のあらゆる場面に関わる非常に幅の広い仕事です。人間科学職は、主に「人と仕事」に関わる領域、例えば、

- ①職業安定行政の第一線機関であるハローワークの業務指導、
- ②若年者、障害者、高齢者、生活困窮者等対象者等の属性に応じた就職支援、
- ③職業訓練受講者の就職促進、労働者のキャリア形成支援、

等の業務に携わります。それ以外の本省部局で活躍する場面も増えてきています。労働局の管理職、関係機関の研究職、在外公館や国際機関の職員として活躍する人もいます。



Q2: 人間科学職の仕事の一つに「政策の企画立案」ということがありますが、どのように行われるのですか。

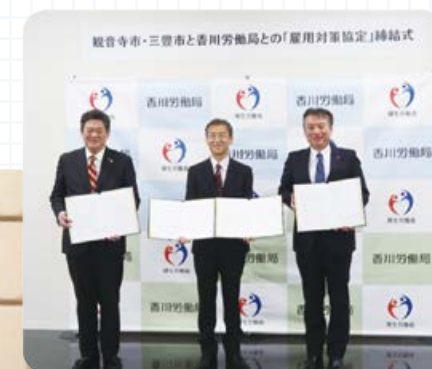
政策を作るプロセスを簡単に言うと、

- ①世の中にどのようなニーズがあるかをキャッチし、
- ②それを具体的な形(法律、政省令及び通達など)にしていく、ということです。

人間科学職であれば「人と仕事」に対する幅広い興味関心を活かしてニーズキャッチに力を発揮していただけると期待しています。一方、具体的な法律等の「作り方」については、入省直後は戸惑うことも多いでしょうが、実際に仕事をしながらしっかりと学んでいただくことになります。

Q3: 人間科学職の魅力を教えて下さい。

人間科学職は、本省において政策の企画立案に携わりながらも、同時に「現場」に近い存在でも感じています。他の職種に比べて地方に出る機会が多く、現場感覚を感じ取ることが上手いと思います。また、人間科学職の得意分野を中心に配属されていくため、キャリアを重ねていくうちに、自分の興味関心に合った分野に出会う可能性も高いでしょう。人間科学職は「総合職」と「専門家」という二つの顔を持っているわけです。



▲ 労働局と自治体との雇用対策協定締結式
(香川労働局長の頃、観音寺市長・三豊市長とともに)

◀ WAPES (世界公共雇用サービス協会)
カンボジアプロジェクトでの講演(ブノンペンにて)